

# 事務事業評価シート

H27(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部
	19068-1	一般遺跡調査事業	室名	文化振興局まちなみ文化財室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	04:歴史文化の継承	務	款 教育費
	施策の方向	03:文化財の保存・活用	科	項 社会教育費
戦略プロジェクト		目	目 遺跡調査費	

②目的・概要	対象	市民・保存団体
	目的	埋蔵文化財の保護を適切に図るため、法に基づく手続きや調査を行う。
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発行為等に際し、埋蔵文化財の保護を徹底するため、文化財保護法に基づく諸手続きを行う。</li> <li>市が実施した発掘調査や試掘調査等に伴う出土遺物等を適切に整理・管理する。</li> <li>重要遺跡等の範囲(有無)確認調査を行う。</li> </ul>	

		27年度	28年度
①	名称	重要遺跡範囲(有無)確認調査の件数	計画値
	補足	正法寺山荘跡、鈴鹿関跡、峯城跡、伊勢国府跡(長者屋敷遺跡)等の重要遺跡における範囲(有無)確認調査	実績値 6 件
②	名称		計画値
	補足		実績値
③	名称		計画値
	補足		実績値
④	名称		計画値
	補足		実績値

年度計画				年度実績				
④事業の計画・実績					<ul style="list-style-type: none"> <li>開発行為等に対し、法律等に基づき適正に対応した。</li> <li>発掘調査出土遺物の整理作業を埋蔵文化財整理所で行った。</li> <li>国史跡「正法寺山荘跡」及び「鈴鹿関跡」等の重要遺跡の範囲確認調査を実施した。</li> <li>一部遺跡における、地元まちづくり団体による積極的な管理活動に支援を行った。</li> </ul>			
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	2,275	平均給与額×③
	国庫支出金		1,700	919		一般職員人件費 ②	2,275	
	県支出金		441	414		所要人員 ③	0.30	
	地方債		0	0		臨時職員人件費 ④		
	その他		0	0		受益者負担額 ⑤		
	一般財源		7,657	9,162		受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額		0	0			
		前年度からの繰越額		0	0			
		総人件費		①	2,275			
	総コスト		⑥	12,770				

⑤事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	<ul style="list-style-type: none"> <li>法に基づき文化財保護の指導をすることにより、開発行為が適切に行われた。</li> <li>市が実施した発掘調査等で出土し整理した遺物について、歴史博物館で展示する等整理公開が進んだ。</li> <li>県指定史跡「峯城跡」で管理活動を行う地元まちづくり団体に対する支援により、団体の史跡管理活動が活発となり、史跡内の見学コースの樹木間伐・除草・清掃実施など環境改善が見られた。</li> <li>公共工事等の有無について全庁的に照会を行い、文化財保護協議を行った。</li> </ul>	<p><b>A</b></p> <p>順調に進んだ</p>

⑤事業の評価	【反省点・課題】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要遺跡の範囲確認は、面積が大きい時間時間を要する。市内には、国・県指定の史跡が6箇所あり、順次調査を進めていく必要がある。また、史跡等は、面積が広大であるものが多く、その保護については地権者だけでは対応しきれないため、地元まちづくり団体の積極的な参画が不可欠であり、団体の継続的な活動が図れるよう支援を充実する必要がある。</li> </ul>

⑤事業の評価	【改善の方向性】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>範囲確認調査等必要な調査を国県等の支援を得て継続していく。</li> <li>史跡等の保護に地元まちづくり団体の参加を求めていくとともに、保護活動に必要な支援を行う。</li> </ul>

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: まちなみ文化財室長 山口 昌直
--------------	---------	--------------------------